

INTERVIEW TIME

清水 いつ頃から、ブルーベリーを栽培されているんですか？

繁治 1982年です。うちは祖父の代から農業を始め私で3代目なんです。それまでは稲作メインでした。

清水 なぜブルーベリー栽培を始めたんですか？

繁治 もともと田んぼの面積があまり大きくないところに、全国的な米の生産調整を目的とした減反政策が本格化し、作付面積を減らす必要が出てきたんです。当然、米の収量は落ちますから、生活のためには他の作物を育てていかなければいけない。田んぼの作業と時期が重ならず、台風など天候による影響も少ないもの

日本一への道を拓いた 覚悟と行動力。



は何かと考えたときに、ブルーベリーにたどり着いたんです。

浅沼 栽培ノウハウは、どのように身につけられたんですか？

繁治 日本のブルーベリー栽培の先駆者が長野県信濃町にいらっしやっで、まずはそちらで研修させていただきました。当時は全国的にも生産者は少なく、県内には1人もいませんでした。話を伺ううちに、「地域の特産にもできそうだし、やってみよう」と決意し、30アールの畑に1000本の苗木を植えることからスタートしました。

浅沼 現在の1万本と比べると少ないですが、スタートにしては大規模のように感じます。不安はなかったんですか？

繁治 ありましたよ。でも、それ以上に「絶対成功させてやるんだ」という気持ちが強かった。今はもう息

Supported by
庄内広域行政組合、山形県庄内総合支庁

庄内の食の魅力を
若者が発見！

庄内 オイシズム

Shonai Oishism 8



山形大学農学部3年 清水 寛子さん
山形大学農学部3年 浅沼 未歩さん
月山高原鈴木農園代表 鈴木 繁治さん
月山高原鈴木農園 鈴木 拓真さん

7ha超の畑に40品種1万本という日本一の規模、
そのすべてを有機栽培で維持する技術を持つ
月山高原鈴木農園。
県内で初めて栽培を手がけてからの歩み、
ブルーベリーにかける想いや展望を伺いました。

月山高原 鈴木農園 × 山形大学 農学部

2021年のブルーベリー狩りは、
7/3(土)オープン予定!

取材・編集・文：庄内オアシズ編集部、工藤拓也
写真・イラスト：間真由美
協力：月山高原鈴木農園、山形大学農学部

募集中

一緒に取材を行ってくれる高校生・調理師専門学校生を募集中です。
詳細は、Cradle事務局のメールに
お問い合わせください。
info@cradle-ds.jp



お話を伺った場所

月山高原 鈴木農園

住：鶴岡市羽黒町上野新田字上台80
電：0235-62-4042

拓真 小さなお子さんやお孫さんと一緒にブルーベリー狩りに来られる方に「無農薬だから安心して連れて来られる」と言っていただけのこと結構あって。とてもうれしいし、頑張ろうって気持ちになりますね。
浅沼 今後の展望を教えてください。
拓真 独り立ちにはまだ不安があるというのが正直なところです。祖父が築いてきたものを受け継ぎ、たくさんの人を笑顔にできるブルーベリー農家を目指します。
繁治 空気が景色もよく、のんびり過ごせる場所なので、若い人たちにもぜひ遊びに来てほしいですね。

清水 農薬や化学肥料を使わずに栽培されていますが、苦労も多いと思います。
繁治 ブルーベリーは病気にかかりにくく、害虫もつきにくい。果樹の中では無農薬・無化学肥料栽培がしやすい方ではありますが、いろいろな大変なこともあります。実現できたのは、「安全安心で、もっとおいしいものを」という強い気持ちで、試行錯誤を繰り返してきたからだと思います。

豊かな自然に抱かれ
たくさん笑顔咲く
ブルーベリー農園。

子に任せていますが、その頃は田んぼもやりながらで。忙しい時期がずれているとはいえ、妻と2人でこなすにはなかなかの作業量でした。1日でも早く栽培方法を確立したいと思い、栽培を開始してからもしばらくは長野の研修先に通いました。田んぼの作業を終えてから夜に車を走らせ、向こうに着くのが夜中の3時。少し仮眠をして、作業を手伝いながらたくさんを教えてくださいました。そうして3年目に、初収穫を迎えたときは本当にうれしかったですね。

おいしいブルーベリーと
庄内の美しさを
たっぷり味わえる。



ブルーベリー

ブルーベリーの品種は、寒地向きのハイブッシュ系、暖地向きのラビットアイ系の大きく2つに分けられる。月山高原鈴木農園で栽培する40品種はどれも前者に分類されるが、旬が少しずつずれているため長い期間楽しめるという。

ブルーベリー本来の味を
大切に加工品は、
すべて自家製の。



どこを眺めても
本当にいい景色！



鈴木農園のみなさん、
ありがとうございました！



景色を楽しみながら、
のんびり過ごせる
展望デッキ。

お知らせ



「食の都庄内」
サポーター
募集中!

山形県庄内地域「食の都庄内」をクチコミ・SNSなどいろんな場面で広げて応援してください!

申込みは
コチラ



「食の都庄内」
ブランド戦略会議